

「ネオリベラル」な福祉再編と 女性の自立支援

日本初の女性総理誕生の一方で、日本における男女の賃金格差は未だに大きく、女性たちの貧困リスクも高いままです。その背景には、フェミニズムの台頭と女性政策の拡大が進む一方で、福祉政策の「ネオリベラル」(新自由主義)な再編が「自立支援」というスローガンの下で推進されたことがあると考えられます。

今回の公開学習会では、「ネオリベラル」な福祉再編と女性の自立支援の現状を講師から学び、課題について議論していきたいと思います。

日 時：2025年12月13日(土)14：00～17：00
(開場：13:30～)

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス大内山校舎Y604
(JR・東京メトロ市ヶ谷駅から徒歩10分)

講 師：堅田香緒里さん(法政大学社会学部准教授)

参加費：無料(定員90名)

講師プロフィール

東京都立大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了。
博士(社会福祉学)。専門は社会福祉学、福祉社会学、社会政策。
主な著書に『生きるためのフェミニズム パンとバラと反資本主義』
(タバブックス、2021)、など

【申込先】tokyoteisyotoku@gmail.com

お申込期限：12月10日(水)まで

※お名前・ご所属・緊急連絡が可能な連絡先を 上記のメールアドレスもしくは、下記のQRコードを読みとり、送信ください。



諸注意

- ・申し込みは受付は先着順となります。
- ・定員超過の場合、または講演会が中止となった場合にのみご連絡いたします。
- ・参加確定の通知は行いません。定員超過や中止の連絡がない場合は、講演会当日に会場までお越しください。